

にしとみおか なかじま
西富岡・中島遺跡 / にしとみおか なかじま
西富岡・中島2遺跡

伊勢原市 No.171 遺跡 / 伊勢原市 No.212 遺跡



1. C1・2号水田 (中島)



2. C7号溝しがらみ (中島)



3. C2号水田遺物出土状況 (中島)

[神奈川県教育委員会所蔵]



4. 中世全景 (中島2)

● 主な調査成果

低地にある中島遺跡では、中世の水田が発見されました。水田は2枚検出され、溝で区画されていました。水田内は、砂利を盛るなどして、畦を作り、さらに細分していたようです。区画の溝は、水路としても利用され、水量の調節もできたようです。鎌倉時代から利用が開始され、少しずつ水田の範囲を広げた様子も分かりました。調査では、江戸時代前期頃までの利用が確認できました。江戸時代の古絵図には、遺跡地周辺に堰を伴う水路などが描かれており、その一部が発見されたと考えられます。

一段高い中島2遺跡では、耕作に関すると思われる建物や穴が発見されました。中島地域の中世村落を復元する上で重要な調査となりました。

- 調査期間 2020年4月1日～10月31日
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 一般国道 246号(厚木秦野道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世
- 所在地 伊勢原市西富岡字中島
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北約3kmの渋田川低地

